

あいみ富有の里



～広報誌 第125号～

平成31年 2月 1日発行
発行元
あいみ富有の里地域振興協議会
広報誌編集委員会
問い合わせ先 64-3504
fuyuu350464@yahoo.co.jp

むら・まち支え合い共生の里 交流事業（ソバ収穫祭）

1月27日、中山間地域の農村と市街地住民が連携し、農地・農業用施設の保全活動や農産物の生産・加工品づくりなどに取り組み、農業・農村の活性化につなげる「むら・まち支え合い共生の里」事業で、米子市就将校区自治連合会とソバ栽培に取り組み、この度ソバの収穫祭を実施した。

今年度のソバの出来高は、昨年 비해豊作となり、就将区から11人、富有の里から8人が参加し、ソバ打ちで交流を深めた。この事業は遊休農地解消モデル事業を兼ねて実施。むら・まち支え合い共生の里補助事業は、今年度で終了するが、事業内容の継続と地域奨励作物（特産品）エゴマ栽培にも取り組むこととしている。（総務企画部）



遊休農地解消を目指した活動・・・



エゴマ栽培



ソバ栽培



まちの保健室in富有・・・

毎月第4木曜日に開催



特集10年史 (設立5年目)

平成23年度

<主な活動>

1. 青空市春祭り(JAショップ前で共同開催)
2. 就將公民館と交流(サツマイモ栽培)
3. 路線バス存続運動(県下初の自転車積み込み実現)
4. 支え愛シニア事業認定(鳥取県知事)
5. 青パト活動で関係機関から表彰状・感謝状を受ける



富有の風

御内谷地区では2回目の農作業体験交流会を行いました。春、4.6aの水田に大人や子供達が田植え網の前に一列に並び、手でもち米苗を植えました。夏には大雨により川砂が入ったものの影響は少なく、きめ細やかな育成作業の努力の甲斐もあり順調に生育しました。秋には手で稲刈り、ハデ掛け、ハーベスターにより脱穀作業を行い、前年より多いもち米を収穫することができました。公民館祭りにて収穫したもち米を杵と臼で餅つきをして、きな粉餅、あん餅、ぜんざいをして美味しく頂きました。また、他の地区の子供たちの参加もあり、かつ昔の米づくりの苦労も体験した有意義な交流会でした。(U)

行事案内

★まちの保健室

日時:2月28日(木)9:30~

場所:えんが一の富有

協議会では今年3月末で任期満了になる会長・副会長の次期候補を募集しています。締め切りは2月12日(火)です。